

## 令和2年度 事業報告書

### 1. 法人の概要

#### (1) 基本情報

##### ①法人の名称

学校法人 山野学苑

##### ②主たる事務所の住所等

住所：〒151-8539 東京都渋谷区代々木 1-53-1

電話番号：03-3379-0111

FAX 番号：03-3370-0008

ホームページ：<https://www.yamano.jp/>

#### (2) 建学の精神と教育理念

山野学苑は、初代山野愛子校長が提唱した「美道5大原則（髪・顔・装い・精神美・健康美）」を基に美容理論の追及、美容に関する知識・技能の教授・研究を通して社会や美容界で広く貢献のできるリーダーを育成するとともに、国際社会で活躍のできる人材の育成を目標とする。

#### (3) 山野学苑の沿革

- |      |         |     |   |
|------|---------|-----|---|
| 1934 | （昭和9）年  | 4月  | 東京日本橋に山野美容講習所設立   |
| 1948 | （昭和23）年 | 9月  | 国際山野高等美容学院設立認可  |
| 1949 | （昭和24）年 | 12月 | 財団法人山野高等美容学校設置者変更、設立認可<br>（理事長に山野治一就任、校長に山野愛子就任）<br>美容師養成施設として厚生大臣の指定を受ける |
| 1954 | （昭和29）年 | 12月 | 学校法人山野高等美容学校設置者変更認可<br>（学校教育法第8条第3項準用の同法第4条の規定）                           |
| 1973 | （昭和48）年 | 12月 | 学校法人山野学苑に法人名称を変更  |
| 1977 | （昭和52）年 | 2月  | 学校法人山野学苑山野美容専門学校設置認可  |
| 1991 | （平成3）年  | 12月 | 山野美容芸術短期大学設置認可（文部大臣）  |
| 1992 | （平成4）年  | 4月  | 山野美容芸術短期大学開設 美容芸術学科設置   |
| 1995 | （平成7）年  | 8月  | （山野美容芸術短期大学学長に山野正義就任）   |

- (山野美容専門学校校長に山野愛子ジェーン就任)
- 12月 山野美容芸術短期大学 美容保健学科設置認可
- 1996 (平成8)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容保健学科開設
- 1997 (平成9)年 10月 山野日本語学校設置認可
- 1998 (平成10)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容保健学科  
(美容師養成施設に指定)  
山野日本語学校開設  
(山野日本語学校校長に山野正義就任)
- 12月 山野美容芸術短期大学 美容福祉学科設置認可  
(介護福祉士養成施設に指定)
- 1999 (平成11)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容福祉学科開設
- 2002 (平成14)年 12月 山野医療専門学校認可
- 2003 (平成15)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容福祉学科  
(美容師養成施設に指定)  
山野医療専門学校開設  
(柔道整復師養成施設に指定)  
(校長に山野正義就任)
- 2004 (平成16)年 4月 山野美容芸術短期大学 専攻科芸術専攻・社会福祉専攻開設
- 2005 (平成17)年 2月 山野美容芸術短期大学 専攻科芸術専攻大学評価・学位授与機構  
認定
- 2007 (平成19)年 4月 山野美容専門学校校舎 M. YAMANO TOWER 竣工
- 2009 (平成21)年 4月 山野日本語学校大学 進学1年コース設置
- 2010 (平成22)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容総合学科設置認可  
山野美容芸術短期大学 美容総合学科設置認可に伴う美容芸術学科・  
美容保健学科・美容福祉学科募集停止
- 2011 (平成23)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容芸術学科・美容保健学科・美容  
福祉学科を改組  
美容総合学科(美容デザイン専攻・総合エステティック専攻・  
国際美容コミュニケーション専攻)開設
- 2012 (平成24)年 4月 山野美容芸術短期大学 美容総合学科現代美容福祉専攻開設
- 2013 (平成25)年 4月 学校法人山野学苑総長に山野正義就任

- 学校法人山野学苑理事長に山野愛子ジェーン就任  
 山野美容芸術短期大学学長に山野愛子ジェーン就任  
 山野日本語学校校長に山野一美ティナ就任
- 2014 (平成26) 年 3 月 山野美容芸術短期大学 日本語別科開設  
 4 月 山野美容芸術短期大学 美容総合学科 現代美容福祉専攻募集停止
- 2015 (平成27) 年 2 月 山野美容専門学校専門課程、文部科学大臣より  
 「職業実践専門課程」に認定  
 4 月 山野美容芸術短期大学 美容総合学科 総合エステティック専攻を  
 エステティック専攻に名称変更
- 2017 (平成29) 年 4 月 山野美容専門学校専門課程、文部科学大臣より  
 「職業実践専門課程」認定取り消し
- 2018 (平成30) 年 3 月 山野医療専門学校募集休止
- 2020 (令和2) 年 3 月 山野医療専門学校閉校  
 山野美容専門学校専門課程、文部科学大臣より  
 「職業実践専門課程」に認定  
 8 月 山野医療専門学校廃止届提出

(4) 設置する学校

山野美容芸術短期大学	美容総合学科 美容デザイン専攻 エステティック専攻 国際美容コミュニケーション専攻 専攻科 芸術専攻 日本語別科
山野美容専門学校	専門課程 高等課程 通信課程
山野日本語学校	大学進学準備教育 1 年コース 大学進学準備教育 1 年半コース 大学進学 1 年コース

## (5) 学校等の学生数の状況

(令和2年5月1日現在)

学校名		入学定員	入学者数 R2.5.1	収容定員 R2.5.1	現員数 R2.5.1	前年度 現員数 R1.5.1	新年度 現員 R3.5.1	
山野美容 芸術短期 大学	美容総合学科	245	155	490	366	494	312	
	専攻科芸術専攻	40	0	80	0	3	2	
	日本語別科	60	22	60	22	91	0	
山野美容 専門学校	美容専門課程	800	494	1,600	1047	1067	954	
	美容高等課程	540	14	1,080	35	55	31	
	通信課程	600	228	1,800	881	828	861	
山野 日本語 学校	大学進学 準備教育	1年 コース	100	4	100	4	92	3
	同上	1年半 コース	55	74	110	74	90	115
	大学進学	1年 コース	100	43	100	43	77	7

(注) 山野医療専門学校は、平成30年4月生徒募集停止、令和2年3月閉校

(注) 山野日本語学校大学進学準備教育一年半コースは10月入学の為、入学者数はR1.10.1現在の人数

## (6) 収容定員の充足率

(毎年度5月1日現在)

学校名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
山野美容芸術短期 大学	1.03	1.06	1.06	1.04	0.75
山野美容専門学校					
美容専門課程	0.77	0.74	0.72	0.67	0.66
美容高等課程	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04
通信課程	0.49	0.37	0.45	0.46	0.49
山野日本語学校	0.77	0.81	0.84	0.84	0.4

## (7) 役員の概要 理事

理事の定数9名

	氏名	就任年月日	常勤/ 非常勤	主な現職等
1	山野愛子ジェーン	平成 7. 8. 8	常勤	(学) 山野学苑理事長・山野美容芸術短期大学学長・山野美容専門学校校長・(財) 国際美容協会理事長・山野流着装宗家

2	山野栄子ダイアン	平成 25. 5. 28	非常勤	(学)山野学苑学苑長、山野美容商事(株)取締役
3	香川 美津江	平成 12. 5. 26	非常勤	(財)国際美容協会理事・山野美容芸術短期大学兼任教員
4	福田 富雄	平成 27. 9. 15	非常勤	(株)フォーティ・ウインクス代表取締役副社長
5	村田 明彦	平成 27. 8. 3	非常勤	東京ティーモス法律事務所
6	河東 まゆみ	平成 25. 5. 28	非常勤	サロン・ド・エム経営
7	青木 和子	平成 22. 10. 21	常勤	山野美容芸術短期大学教授
8	木村 康一	平成 29. 5. 26	常勤	山野美容芸術短期大学副学長

(注) 寄附行為第 6 条 3 の規程により、理事の定数 1 名を減じている。

(学苑長、短期大学学長が理事を兼ねている) 監事の定数 2 名

	氏 名	就任年月日	常勤／ 非常勤	主な現職等
1	水野 孝平	平成 22. 10. 21	非常勤	税理士
2	林 成高	平成 20. 11. 5	非常勤	(有)ユー美容室経営

#### (8) 評議員の概要

評議員の定数 19 名

	氏 名	就任年月日	主な現職等
1	山野愛子ジェーン	平成 4. 5. 25	(学)山野学苑理事長・山野美容芸術短期大学学長・山野美容専門学校校長・(財)国際美容協会理事長・山野流着装宗家
2	山野栄子ダイアン	平成 25. 5. 28	(学)山野学苑学苑長、山野美容商事(株)取締役
3	山野一美ティナ	平成 12. 5. 26	山野日本語学校校長・UCLA 教授
4	中川巧スタンリー	平成 14. 3. 29	(学)山野学苑総括
5	香川 美津江	平成 12. 5. 26	(財)国際美容協会理事・山野美容芸術短期大学兼任教員
6	河東 まゆみ	平成 25. 5. 28	サロン・ド・エム経営
7	村田 明彦	平成 27. 8. 3	東京ティーモス法律事務所
8	福田 富雄	平成 27. 9. 15	(株)フォーティ・ウインクス代表取締役副社長
9	青木 和子	平成 21. 8. 31	山野美容芸術短期大学教授
10	木村 康一	平成 29. 5. 26	山野美容芸術短期大学副学長
11	新藤 アイ	平成 7. 3. 1	山野美容芸術短期大学兼任教員・(財)国際美容協会着装教室宗伝
12	高清水 則夫	令和 2. 6. 10	(財)国際美容協会総務部長
13	鈴木 輝康	平成 16. 4. 1	元山野美容専門学校事務局長
14	杉浦 ゆり	平成 21. 8. 31	セントケア(株)・訪問介護
15	高橋 節子	令和 2. 4. 1	(株)コメント・プロパティ代表取締役
16	三宅 政志公	平成 27. 9. 15	元学校法人山野学苑事務局長
17	佐藤 美奈子	平成 27. 9. 15	(学)山野学苑理事長補佐・(財)国際美容協会着装室宗伝
18	多田 正明	平成 27. 9. 15	(学)山野学苑企画課顧問
19	古山 正道	平成 7. 8. 8	(学)山野学苑経理部長

(9) 教職員の概要

(令和2年5月1日現在)

	本務人数	兼務人数	合計	平均年齢 (本務)	平均年齢 (兼務)	平均年齢 (合計)
山野美容芸術短期大学	57	151	208	48.3	50.7	50.1
山野美容専門学校	71	3	74	45.4	58.0	45.9
山野日本語学校	15	26	41	39.5	43.8	42.2
法人事務局	31	8	39	53.0	63.0	55.1

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

山野学苑は、昭和9年に東京・日本橋に美容師養成事業の端緒となる山野美容講習所を創立、昭和29年には学校法人山野高等美容学校を設立し、以来、美道5大原則を教育理念に今年で87年の歴史を迎える。

この間、国内最大級の美容学校である山野美容専門学校、我が国初となる美容の高等教育機関である山野美容芸術短期大学を設立、更には山野日本語学校を開設し、世界で活躍のできる人材の育成に努め、今日に至っている。

また、山野学苑は、日本で初めて「美容福祉」を提唱し、更に超高齢社会の諸問題を学際的に研究する「美齢学・ジェロントロジー」教育を普及・教授し、米国 USC、青山学院大学、大阪大学等と連携をしながら、新たに「美齢学」を構築するための美齢学研究センターを設立し、社会のニーズに対応した教育体制の整備を目指している。

(2) 中期的な計画

山野学苑では、令和2年4月から同7年3月までの5年間を中期計画期間とする「学校法人山野学苑中期計画」を策定し、令和2年度よりその実現に取り組んでいる。

中期的な計画及び事業計画の進捗状況及び達成状況については、次のとおりである。

## 《山野美容芸術短期大学》

### 【全 般】

令和2年度は、建学の精神を再認識し、建学の精神を具現化する3年度からの学科改組に向けて将来像を示し、その実現に向け様々な取り組みを進めた。

一方で新型コロナウイルス感染症対策のため、従来実施していた対面授業や実習が難しい状況が継続し、また学生同士が交流するクラブ活動や学苑祭等の行事も行えず、非常に制約された環境下での教育活動となった。

#### ① 教育

教育にあつては、いち早く遠隔授業（オンライン型）を導入し、短期大学ならではのきめ細かい対応（教員と学生が双方向で交流し、一方通行にならない）により、学習成果は十分得ることができた。

学習成果は、IR活動による学習時間・学習行動の実態把握、入学者調査などにより量的・質的に把握できるが、その結果からも良好であったことが確認できた。

3つのポリシーの点検を行うとともに、アセスメントポリシーに基づく学習成果カルテ（ルーブリック）を見直し、一部改正を行った。また、学習成果カルテは、主観的評価の観点が強いため、GPAの他にも客観的評価の観点を加えるため、外部の標準化されたアセスメント・テスト（PROG）を引き続き導入した。

#### ② カリキュラム

カリキュラムにあつては、カリキュラム・マップの改定により、ゼミナールにおいて学生が自分自身の振り返りを行えるように見直しを行った。ディプロマポリシーの更なる理解につながるものと期待している。

シラバスにおいては、評価のフィードバック方法の項目を追加した。

学生が本学での学びを理解し、学生自身が成長をより実感できるよう、今後も教育の質保証システムへの転換を目指して行く。

#### ③ 授業方法

令和2年度においては新型コロナウイルス対応として、授業が原則オンライン（遠隔）になり、学生の授業への理解や満足度に大きな不安が予想されたが、結果として授業評価は極めて良好であった。

大学では教員の講義を録画して配信するだけの遠隔授業もある旨仄聞しているが、本学においては教員がリアルタイムで講義を行い、かつ同時双方向で学生が自由に質問できる環境を構築したことで、学修機会の確保を図ることができた。

更に実習授業において、実技の工程を細分化したオンラインによる授業方法を確立するなど、学修の質を担保することができた。

結果として、月刊エコノミスト紙において「遠隔授業の好事例」として全国で紹介されることとなった。

授業アンケートは年間2回実施し、授業内容の評価だけでなく、オンライン授業そのものの評価も聴取した。結果は極めて満足度の高いもので、遠隔授業への懸念は解消された。

この他に、本学の理念を実現するための授業スタンスなどをインストラクションスタンダードとして定め、FDSD研修会において、非常勤教員も含めた教職員全員に徹底した。

#### ④ 教員評価

教員評価にあつては、評価指標による厳正な評価を行い、優秀な教員への顕彰を行った。

#### ⑤ 入試

オープンキャンパスにおいて、在学生を主役に据えたことで、受験生の関心を高めることができ、昨年度比多くの受験生を集めることができた。

また、在学生自身もリーダーシップの発揮やコミュニケーション能力の大幅向上など、彼らの成長につながることもあった。

また、Webサイトのリニューアルにより、教育内容の詳細を伝えることができ、多くの受験生の心を集めることができた。

#### ⑥ 学生支援

学生支援としては、ゼミナールを中心に学生への丁寧な指導を徹底した。このことにより、中退・除籍率を改善することができた。(日本人学生退学率：令和元年度 7.6%⇒2年度 4.6%)

しかし退学率については、文部科学省の設置履行状況等調査(AC) 実地調査において、大勢の留學生が中退・除籍していることを踏まえ、学生への指導に注力するよう指導を受けており、令和3年度に向けては、ゼミ担当教員を中心とした全学体制のもと、丁寧に支援できる体制(指導体制)を構築した。

#### ⑦ その他

高等教育の修学支援新制度については、対象機関として認定された。

### 【建学の精神を具現化する学科改組】

これからの急速な社会情勢の変化に対応し、将来的に持続可能な大学運営を行っていくためには、抜本的な改革が必要であるという認識のもと、令和3年度(2021年度)より専攻を統合(学科改組)し、抜本的な改革を図ることとした。

専攻統合の学科改組は、平成30年11月文部科学省の「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」の答申を踏まえたうえで、建学の精神である「美道」をよりアカデミックな観点で再構築し、「美道に基づく人間力の育成」を軸とした、本学の特色を最大限に活かし教育改革を行うものである。「美しく生きるために必要な能力を有し、美容を通じ広く国際社会に貢献しうる人材」を人材育成像とし、履修コース制とすることにより、これまでの専攻の横断的な学びを実現することと合わせ、新たな関連分野の学びにより、学びの広がりや深度をもった教育体系への再構築を目指す。

令和2年度(2020年度)に学科改組届出を提出した。

## 1 各専攻等の内容

### (1) 美容デザイン専攻

美容師の国家資格が取得できる専攻である。幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、他者のニーズを踏まえて「美」を表現するデザイン力、加えて国際性を兼ね備えた美容産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材の育成を主眼に教授を行った。

令和2年度は、コロナ禍のため大半の授業を遠隔で実施したが、美容師国家試験実技課題において応用行動分析の手法を用いた指導を行ったことで、初学者である1年生に対しても技術向上を図ることができた。さらに、本専攻の学習成果の一つである、美容師免許の取得について、筆記試験 97.8%、実技試験 100%合格を達成した。また、山野学苑が培ってきた美容福祉の継承の一翼を担う「介護職員初任者研修」も継続して実施した。

本専攻の中で、海外のサロンでの活躍や、国内においても英語での接客・コミュニケーション力を有し、グローバルな活躍を目指す学生に向けた、「グローバルスタイリストプログラム」を体系化しており、このプログラムは今後、履修証明プログラムとして展開していく。



(2) エステティック専攻

幅広い教養と美容知識・技術の習得を通して「美」に纏わる課題を発見して解決する能力を養うとともに、生理学・栄養学・心理学などの視点から「美」をとらえ、エステティック産業を中心とする国内外の様々な分野で活躍できる人材の育成を主眼に教授を行った。

この中で、体の内側から美しくなるために栄養、健康、オーガニックコスメなどの知識・技術を学ぶ「インナービューティプログラム」、またエステティック国際ライセンスを取得して国際的な活躍を目指す学生に向けた「グローバルビューティシャンプログラム」を展開した。令和2年度は、本専攻の学習成果の一つである「CIDESCO」の資格認定試験にて、受験者の100%合格を達成することができた。

(3) 国際美容コミュニケーション専攻

幅広い教養と美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、語学力や自国文化を含めた異文化理解などの国際性を兼ね備えた、サービス産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材の育成を主眼に教授を行った。

令和2年度は、コロナ禍における感染防止のため、前期はオンラインでの授業となったが、英語学習は、オンライン授業（ZOOM）でのグループセッションを含めた授業展開による教育的効果が特に高く、オンライン授業が効果的に英語力の向上につながった学生も多い。後期からは一部実習科目を対面授業で行うことができるようになったが、双方向性のオンライン授業による学生の情報リテラシーは飛躍的に伸び、コロナ後の社会において活用できる力になっていくものと思われる。

また本専攻においては、日本文化、接客接遇、異文化理解、接客英語等を学び、「グローバルおもてなしマイスター」認定と、経済産業省が創設した「おもてなしスキルスタンダード」のベーシック認定を取得し、外国人対象にサービス産業で活躍できる人材育成を推進している。授業はオンラインを中心に進め、対面で行われる資格試験のために、直前の対策は対面で徹底して行い、その結果ほとんどの学生が資格を取得することができた。

(4) 専攻科芸術専攻

令和2年度は学生の在籍が無かった。

(5) 日本語別科

国内の美容関連学科を有する大学又は専門学校に進学を希望する外国人に対し、日本語、日本事情、日本文化等を教授し、国際的視野に立つ美容界の理解者となる人材の育成を主眼に教授を行った。

## 2 卒業後の進路

### (1) 美容デザイン専攻

区 分	人 員	占有率 (%)
美容室	60	65.93
化粧品	5	5.49
アイラッシュ	3	3.30
ブライダル	4	4.40
その他業界	8	8.79
進学	2	2.20
帰国	2	2.20
上記以外進路	7	7.69
計	91	100.00

### (2) エステティック専攻

区分	人員	占有率 (%)
エステ	16	88.89
化粧品	0	0
ネイル	0	0
その他業界	0	0
上記以外進路	2	11.11
計	18	100.00

### (3) 国際美容コミュニケーション専攻

区 分	人 員	占有率 (%)
ホテル	2	3.57
化粧品	4	7.14
外食	5	8.93
エステ	2	3.57
ネイル	1	1.79
その他業界	15	26.79
進学	3	5.36
帰国	3	5.36
留学	1	1.79
就職活動中	14	25.00
上記以外	6	10.71
計	56	100.00

### (4) その他

国際美容コミュニケーション専攻 1 名が特定活動ビザを修得し、13 名現在就活中である。

## 3 キャリアサポート

### (1) キャリア支援センター

コロナ環境下、キャリア支援センターは ZOOM を活用し、ゼミ担当教員並びにキャリア形成科目担当教員等と密接に連携を図りながら、就職先の新規開拓等を行いつつ学生への情報提供の充実に努めた。

令和2年度からゼミの時間を同曜日、同時間に設定し全専攻が合同で学ぶ専攻合同授業を設置し、OB・OG講演並びに企業講演の内容・回数を抜本的に見直し、社会との関わりを強く意識した内容の授業を増やした。

先輩の活きた就活体験情報や企業が望む人材像、業界特徴等多くの情報を直接学生に伝えることで、社会人基礎力の向上に結び付いたと考える。

この他、ZOOMによる「特別講座の実施（講演）」並びに特に「合同企業説明会」は特筆すべき効果の高い内容であった。

また学生個人々々に可能な限り寄り添うべく、ZOOMによる個別相談・面接指導・書類指導推進した。さらに、Uターン・Iターン就職協定を結んでいる長野県、栃木県、並びに山梨県と連携し、求人情報提供を行った。

## (2) インターンシップ

例年学生はヘアサロン、エステサロン、ネイルサロン、一般企業（ブライダル企業、化粧品企業）等のインターンシップに参加し、働くことの意義や職場の状況について体感する機会を得ていた。

しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス対応として、ほぼすべてのインターンシップが行えない状況であった。

このような環境下、新しい方向性を模索し、「就業体験型」からの脱却を目指し、「リモート型」インターンシップの拡大強化を図り、「本学単独・他大学合同」、「課題解決型（PBL）型」への比重を高める活動を推進した。

その中で、本学初めての試みとして「17大学・15企業合同リモートインターンシップ」に参加し大きな成果を得た。今後更なる進化を遂げた形で多くのインターンシップの機会創出につなげて行く。

## 4 正課外活動・地域連携等

令和2年度は正課外活動・地域連携においても、新型コロナウイルスの影響を受け、ほとんどの活動を行うことができなかった、

しかしその中でも「オープンキャンパススタッフ」活動においてコミュニケーション能力を初め、親和力、チームビルディング力などの社会人基礎力を養うことができた。学生の自己肯定感や自主行動力も培われた成功事例となった。

令和3年度に向けて「正課外活動・地域連携などの窓口をキャリア支援課に一本化する」体制を目指し、活動の充実を図った。正課外活動とディプロマポリシーとの結びつけを明確に意識し内容を絞り込み、事前事後の学びの機会を確実に設けていく内容にする。

## 5 学生募集

令和3年度入学者獲得のため、オープンキャンパスを在学生在が本学の顔となる企画構成とし全20回開催した。内訳は来校型8回、オンライン型12回であった。その他、学校見学会、高校訪問、校内・会場進学ガイダンス及びWebリスティング広告、SNS等を活用し、新しい学びの内容を授業紹介動画や学校案内を通じて周知を図り、ブランディングの確立を目指した。令和3年度の入学者数は次のとおりである。

(1) 本科（令和3年度入学者）

	入学者	入学定員	充足率（%）
美容総合学科	164 (3)	245	66.9

注：（）内数字は、留学生を示し、内数を表す。

(2) 専攻科（令和3年度入学者）

	入学者	入学定員	充足率（%）
芸術専攻	2 (0)	40	5.0

注：（）内数字は、留学生を示し、内数を表す。

(3) 日本語別科（令和2年度実績）

ア 入学者

区分	入学者	定員	充足率（%）
10月生	0	60	15.0
4月生	9		
計	9		

イ 国別

国名	入学者		計
	10月生	4月生	
中国	0	6	6
ネパール	0	1	1
ベトナム	0	2	2
韓国	0	0	0
計	0	9	9

6 美齢学の構築

令和3年度から正規プログラムとして採用すべく、テキストの取りまとめを進めた。

7 生涯学習等

従来生涯学習として実施していた、地域との連携を含めたハロウィンイベントやプログラム等は、新型コロナウイルス対応として実行不可となった。

生涯学習講座としては、地域にある大学コンソーシアムに参画し、八王子市主催の「いちよう塾」において、建学の精神にある美道を軸に「美齢講座」を開講した。公開講座と提供講座として合計10講座を担当し、市民76人の受講生が参加した。（前期は開講できず、後期のみ実施）

また、次年度以降の課題であるリカレントプログラムとして、履修証明プログラムの規程等の整備を行った。

テストプログラムとして「グローバルスタイリスト育成プログラム」を立ち上げ実施した。コロナ禍において、海外インターンシップ等の実施は不可能となったが、オンラインを活用した講座を実施し、受講者からは満足の声をいただいた。

## 8 防災・危機管理

防災に関しては、令和元年度に実施した防災訓練等を企画検討したが、新型コロナウイルス対応で学生の登校が難しく、実施できなかった。

危機管理ではコロナ禍における衛生に関する管理マニュアルを策定した。

## 9 外部資金の獲得

高等教育を担う本学は、学生への教育は当然として、研究活動への注力も大きな任務である。財務的な制約がある環境下、外部からの研究資金獲得は非常に重要である。

令和2年度の科学研究獲得は研究代表者1件で直接研究費¥1,300,000円、間接研究費¥390,000円、分担者で直接研究費¥200,000円、間接研究費¥60,000円であった。引き続き科学研究費獲得に向けて、教員への支援を継続する。

健全な運営のため体質改善を含めた改革をさらに進めること、適正な学生確保に努めること、教育の質的転換を進め、私立大学等改革総合支援事業等の補助金など外部資金の獲得を進めることが課題である。

また学費収入以外の収入を増強する観点から、社会人や外国人等を対象にした、「履修証明プログラム」や、オンライン教育を活用した「リカレントプログラム」等の検討を進める。

## 《山野美容専門学校》

### 1. 学生数

昨年2月以降の新型コロナウイルスの感染が広がりつつある中で、4月の新学期開始の直後からオンライン授業を開始。その後も感染拡大の状況を注視しながら、6月以降は万全の感染予防対策を施して時差通学や、学科はオンライン授業、実技は対面授業といったハイブリッド型の授業を展開した。さらに、このような厳しい状況下だからこそジェーン校長の提唱する『Be Kind』をスローガンに、学生一人ひとりに対するフォロー、また学生同士や教職員との関係性を強化した結果、退学率を昨年から2ポイント以上低下させることができた。同時に、コロナ禍で経済的に厳しい状況にある学生に対して、高等教育就学支援制度（無償化）の認定校となったことや、新たに授業料の分割納入制度、ジェーン理事長特別奨学金を新設したことも大きく寄与したと考える。

他方、生まれつきの発達障害、いじめや様々な事情で不登校の経験、入学後に人間関係で悩みを抱えた等の原因で、休学する生徒が増加している。これらの学生はもちろん、保護者や指導する立場の教職員を含めて、どのように向き合い、教育やサポートしていけるかは、今後の本校のブランドの価値向上や、通信課程の見直しを含めた学生募集のあり方にも直結する課題と考える。

課程		入学者数 4月在籍者数	退学、転出、除 籍者数	卒業延期 留年者数	卒業 進級者数
専門課程	71期	527名	27名	8名	482名
	72期	494名	41名	4名	431名
高等課程	124期	20名	1名	4名	15名
	125期	14名	2名	0名	9名
通信課程		入学 333名	45名	-	卒業 208名
		在籍 529名			進級 708名

#### 退学率推移（専門課程）

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
退学率	9.3%	14.2%	9.9%	7.5%

## 2. 学生募集

2020年度の入学者数は、前年度比14名の減少となった。首都圏の入学者は13名増加したが、地方からの入学者が27名減少した。募集活動面では、高等学校内や各地方での会場ガイダンスが軒並中止となったことや、3月～6月までの時期にオープンキャンパスを中止せざるを得なくなったこと、また、その後も人数制限を行わざるを得なかったことも影響した。一方、それをカバーすべくInstagramやYouTube等のSNSを活用した広報活動を積極的に行ったが、その効果については再検証する必要があると考える。さらに、年明け以降の一般入試での入学者の大幅な減少についても、様々な要因分析して対策を講じる必要があるが、年内の受験に集中したり、各大学が志願者の減少を受け合格者を多く出す傾向となり、大学不合格者からの流れがほぼ無かったことも要因と考える。また、経済状況の悪化から上級学校への進学を諦める傾向も多くあったと思われる。今後もコロナの影響はあるものと考え、地方対策としてオンラインをうまく活用し宣伝していく。首都圏は現実的なコミュニケーションや情報に飢えておりガイダンスやオープンキャンパスでの接触を強化し、ガイダンスによる生徒との接触機会も多くすることで、他校と比べ山野の強みや優位性をしっかりアピールして、600名の入学者の獲得を目指す。

課程	ガイダンス回数	OC回数	来校者数	出願者数	入学者数
専門課程	154回	35回	2365人	504名	483名
高等課程				17名	15名
通信課程				264名	255名

#### 入学者数推移

課程/年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
専門課程	599名	548名	574名	497名	483名
高等課程	28名	26名	28名	16名	15名
通信課程	299名	283名	300名	214名	255名

## 3. 国家試験合格率

国家試験合格率は春期実施分では全国平均90.1%に対して92.4%となり、前年度比で2ポイント以上の増加となった。これは、前年度の反省から、これまでより早い時期から、クラス分け授業や短大から実績のある生山先生をお招きして、全教職員で国家試験対策を実施した成果ではあるが、実技の不合格者が16名、学科の不合格者が21名、実技・学科の両方の不合格者

は0名という点に課題を残した。また、都内の生徒数100名以上の専門学校の平均合格率が94.2%であることを考えると、今後の生徒募集の観点からも、少なくとも常時95%以上の実績は確保したい。そのためには、入学試験時での学力の見極めを従来以上に厳しく行い、一定レベル以上の学生の確保することが必要となる。

他方、成績下位の学生の底上げに注力するあまり、上位者にも同様の授業形態を強いることは、彼（女）等の不満を増幅し、学力やスキルの向上を阻害することにもつながりかねないことを考慮すれば、さらにレベルに応じた授業内容を再検討すべき余地が残っている。

課程	受験者数	学科合格率	実地合格率	合格率全体
専門課程	475名	95.6%	96.6%	92.4%
高等課程	15名	100%	100%	
通信課程	82名			59.8%

#### 国家試験合格率推移

課程	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
専門課程	90.0%	94.8%	93.9%	90.3%	92.4%
全国平均	94.0%	91.1%	91.3%	90.0%	90.1%

※新卒、春期のみ

#### 4. 卒業後の進路

コロナ禍のため、当初、求人状況は混迷していたが、6月以降徐々に回復傾向にあり、例年より遅いペースであったものの今年度も100%の内定率を獲得することができた。また、第一希望のサロン等に内定した学生は61%と昨年を上回る結果となった。これは、全学生の就職活動状況をデータ化し、担任と共有を図りながら個別の指導を強化し、ZOOMなどのオンラインによるキャリア授業や相談、また説明会や面接の実施を積極的に推進した結果と考える。

さらに、今年度もLIPPS、OCEAN、GOALD、SHIMA、AFLOATなど学生に人気のサロンへの就職が決められたのは、卒業生との積極的な交流と、内定者ガイダンスなどを学内で開催した成果であり、山野の卒業生の幅広いネットワークが、就職活動に大きな支援となっていることは間違いない。

一方、今後の課題としては、学生の個別の適正を見極めた上で、就職先サロンとのマッチングを図って、懸案されている離職率の抑制に結び付けると同時に、転職希望者（OB・OG）に対するサポートを拡充することも重要な課題だと考えている。

#### 《山野日本語学校》

##### 1. 学校の概要

###### (1) 設置コース

コース名	入学時期	定員
大学進学準備教育1年コース	4月	100名
大学進学準備教育1年半コース	10月	110名
大学進学1年コース	4月	100名

## (2) 教職員数

	専任	増減	非常勤	増減
教員	10人	0	20人	-4人
職員	5人	0	1人	0人

## (3) 生徒数（下段は昨年）

コース名	生徒数	定員充足率
大学進学準備教育1年コース	4人 (77人)	4% (77%)
大学進学準備教育1年半コース	202人 (179人)	184% (163%)
大学進学1年コース	44人 (92人)	44% (92%)
計	250人 (348人)	81% (112%)

※コロナの影響より未入国の学生は52人

## (4) 生徒数（地域別、下段は昨年）

中国	ベトナム	モンゴル	ネパール	他	計
87% (85%)	6% (6%)	3% (2%)	1% (0%)	3% (7%)	100%

## 2. 事業の概要

- (1) 山野日本語学校はわが国の大学、専門学校へ進学するための日本語教育及び基礎教育を行う、大学進学準備教育1年コース及び大学進学準備教育1年半コースとわが国の大学、専門学校への進学するための日本語教育を行う大学進学1年コースを設置している。

日本語能力試験(N2以上)の状況(延べ人数、下段は昨年)

受験者数	87人 (296人)
認定者数	62人 (117人)
合格率	71% (40%)

進学状況 ( ) カッコ内は昨年

大学院	大学	短期大学	専修学校
17人(22)	26人(29)	0人(5)	102人(86)



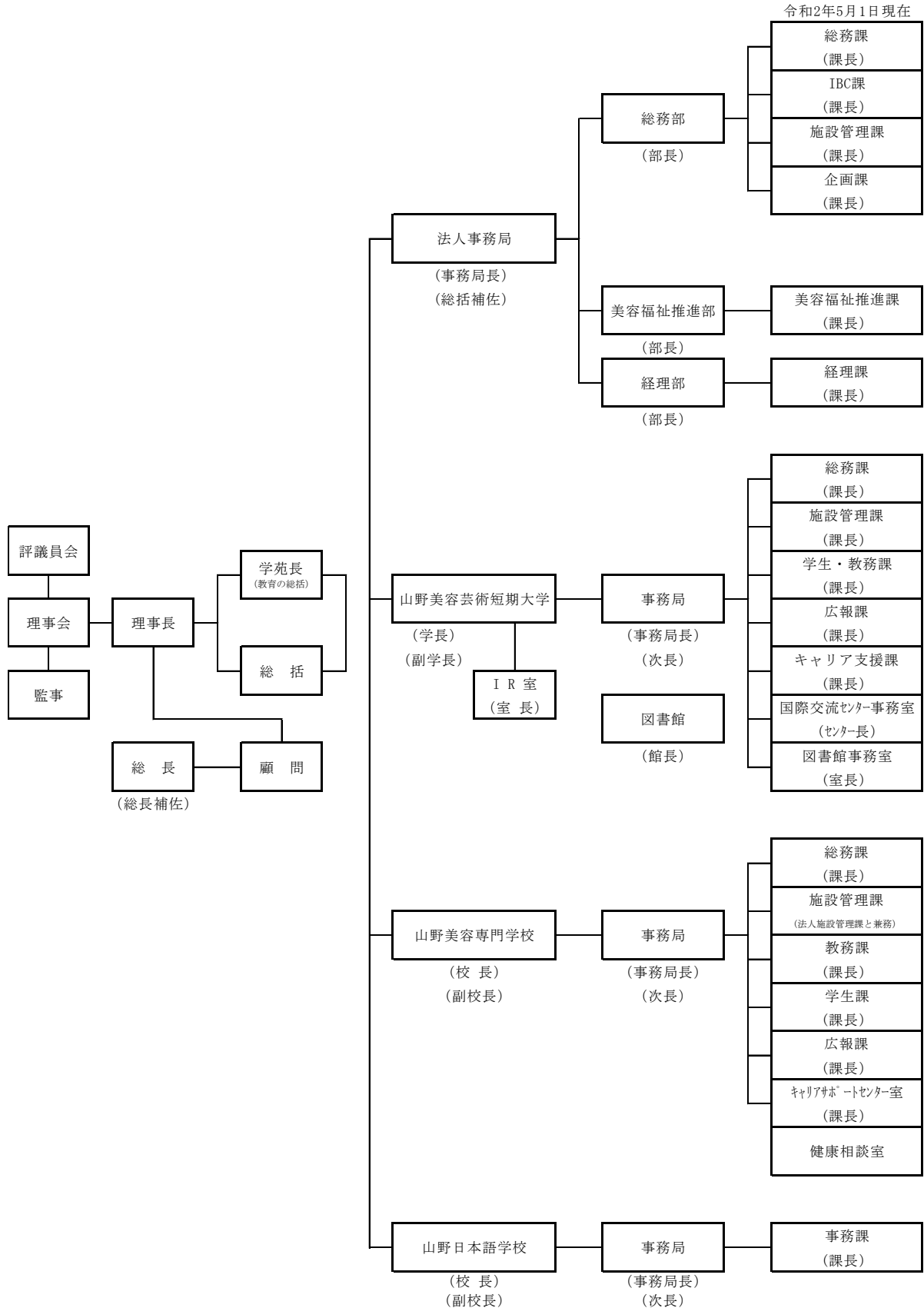
※主な進学先

大学院：東京大学、千葉大学、熊本大学、岐阜大学、首都大学東京、神戸市外国語大学、早稲田大学、慶応大学、日本大学、国土館大学、東京工科大学、桜美林大学、城西国際大学、洗足学園音楽大学

大 学：日本大学、法政大学、東洋大学、多摩美術大学、専修大学、立正大学、尚美学園大学、西武文理大学、城西国際大学、文化学園大学、中央学院大学、日本経済大学、聖学院大学、札幌学院大学、至誠館大学、ものづくり大学、成安大学

- (1) 日本語教育のみならず、日本の文化や風習、日本人の考え方を理解することも重要視し、同学院内の山野美容芸術短期大学、山野美容専門学校と積極的に交流を行った。  
山野美容専門学校とは合同の学苑祭を行い、直接日本人との共同の作業を行うことで日本人に対する理解を深めた。
- (2) 「日本語能力試験合格率 50%を目指すプログラム」の結果が数字として表れた。  
更なる合格率の上昇を目指し、次回の目標を設定する。
- (3) コロナ禍における入国者の大幅な減少、授業料収入の大幅な減額により単年度の事業収支の大幅な赤字が見込まれる。

# 学校法人の事務組織



令和2年5月1日 現在

令和元年度

(2) 役員・教職員の概要

1 役員

[理事]	理事長				
	学長	山野愛子ジェーン			
	校長				
	学苑長	山野栄子ダイアン			
		香川 美津江	河東まゆみ	福田 富雄	青木 和子
		村田 明彦	木村 康一		8名
[監事]		水野 孝平	林 成高		2名
[評議員]		山野愛子ジェーン	山野栄子ダイアン	山野一美ティナ	中川巧スタンリー
		福田 富雄	新藤 アイ	香川 美津江	河東 まゆみ
		村田 明彦	鈴木 輝康	古山 正道	青木 和子
		杉浦 ゆり	三宅 政志公	木村 康一	多田 正明
		佐藤 美奈子	高橋 節子	高清水 則夫	
					19 名
					合計
					27 名

2 教職員

[法人事務局]

総長	山野 正義	事務局長	中川巧スタンリー
理事長	山野愛子ジェーン	顧問	福島 清
総括	中川巧スタンリー	顧問	上田 豊巳
総務部長	澁谷 健治	経理部長	古山 正道
		専任職員計	35 名

[山野美容芸術短期大学]

総長	山野 正義	美容デザイン専攻主任	秋田 留美
学長(兼)	山野愛子ジェーン	総合エステティック専攻主任	永松 俊哉
副学長(兼)	山野一美ティナ	国際美容コミュニケーション専攻主任	ティミー 西村
副学長	木村康一	芸術専攻科主任	栗本 佳典
美容総合学科長	ティミー西村	日本語別科長	佐藤 正則
専攻科長	栗本佳典		
図書館長	五十嵐靖博		

教員

	美容総合学科
教授	18 名
准教授	7 名
講師	6 名
助教	3 名
計	34 名

職員

事務局長 荻野 道人	専任職員計	22 名
	専任教職員計	56 名

[山野美容専門学校]

教員	校長(兼)	山野愛子ジェーン		
	副校長(兼)	山野一美ティナ		
	副校長	青木 和子		
	副校長	大野 雅子		
	副校長	小川 立行		
	教頭	吉田 真希		
	教頭	中山 公二		
	教頭	横川 岳春		
職員	事務局長	今井 秀樹		
			教員	42 名
			職員	29 名
			専任教職員計	71 名

[山野日本語学校]

教員	校長(兼)	山野一美ティナ		
	副校長	中澤京子		
職員	事務局長	日下田 誠司		
			教員	10 名
			職員	5 名
			専任職員計	15 名

合計 178 名